

平成26年度事業報告

平成26年度のわが国の経済状況は、「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」の「三本の矢」の一体的推進により、緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費等に弱さがみられ、年度前半には実質GDP成長率がマイナスとなりました。

26年後半には経済の好循環を確かなものとし、地方に経済成長の成果が広く行き渡るようにするため「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」など、経済対策や政労使会議を含む各種政策の効果もあり、景気は緩やかに回復していくことが見込まれました。

事業の実施にあたりましては、中期事業計画推進委員会において平成26年度の重点目標や活動事項などを定め、年度の取り組みを着実にを行うとともに、次年度の事業計画に向け、年度内の取り組み状況や検証等を行いました。

事業の実績におきましては、受注件数は、ほぼ横ばいの状況でしたが、受託件数が増加し、契約金額は、前年度と比較し若干の伸びとなりました。

事業運営につきましては、公益社団法人として3年が経過し、高齢者の生きがいの充実、福祉の増進や社会参加の推進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与するため、引き続き各種事業に取り組むとともに、自転車・自動車駐車場施設の指定管理事業者として、高齢者の就業の場の確保と利用者へのサービス向上に努めてまいりました。

また、公益目的事業を行う事業者として、就業以外での地域社会への貢献と社会参加を目的に、海岸清掃や公園清掃などのボランティア活動を実施したほか、市民ふれあいまつりへ参加し、多数の会員の皆様に参加をしていただきました。

会員数につきましては、毎月入会説明会を開催し、説明会に参加した方は202名で、そのうち入会した方は122名となり、年度中に退会した会員は217名で年度末の会員数は916名（前年度比90.6%）となりました。

安全就業につきましては、安全管理委員会委員の巡回指導などを行い事故防止等に努めてまいりました。就業中及び就業途上の傷害事故は5件（前年度比皆増）、就業中の賠償事故は7件（前年度比350.0%）となりました。今後は作業ガイドライン等に基づき事故防止に努めてまいります。

事業実績につきましては、受注件数は、公共122件（前年度比107.0%）、企業480件（前年度比93.0%）、個人4,236件（前年度比100.4%）、合計4,838件（前年度比99.8%）、契約金額は、公共165,336,99

0円、企業 110,754,393円、個人102,368,234円、合計378,459,617円（前年度比105.2%）、就業実人員は797人（前年度比103.5%）、就業率は87.0%（前年度比114.0%）でした。

なお、概要は次のとおりです。

1 事業実施状況

(1) 会員の就業機会の拡大及び提供

ホームページやリーフレット等を活用し公共機関などへ広く理解を求め、また、市民ふれあいまつりにおいて来場者へのリーフレットの配布、図書館のスポンサー制度の活用など、PR活動を行い、就業機会の開拓に努めるとともに、会員の希望に沿った就業の場の提供を行いました。

(2) 講習会等の実施

仕事に関する知識や技能の向上及び就業機会の拡大を図るため、(公社)神奈川県シルバー人材センター連合会主催のシニアワークプログラムの参加案内の周知や自主的な講習会として、植木技能講習会、除草講習会、接遇講習会などを実施しました。

(3) 就業情報の収集及び提供

ア 各種情報の提供や会員相互のコミュニケーションを図るため、会報「シルバーちがさき」を年2回、「シルバー通信」を年1回発行しました。

イ (公社)全国シルバー人材センター事業協会、(公社)神奈川県シルバー人材センター連合会等から各種情報の収集を行い、事業の推進に役立てました。

ウ ホームページにより各種情報の提供を行いました。

(4) 就業に関する調査

ア 未就業会員アンケートを26年10月に実施し、就業機会提供のための情報を収集しました。また、その結果を会報に掲載し、未就業の理由等を会員に周知しました。

イ 近隣のシルバー人材センターと事業実施状況等について情報交換を行いました。

(5) 就業に関する相談

就業に関する各種資料を整備し、事務局職員が随時相談に応じました。

(6) 労働者派遣事業

(公社)神奈川県シルバー人材センター連合会の拠点として、労働者派遣事業を引き続き実施しましたが、派遣実績はありませんでした。

(7) 安全就業の推進

ア 会員の事故防止のため、安全管理委員会委員による巡回指導等を適宜実施し、安全就業の推進を図りました。また、就業中のさらなる事故防止及び安全対策の推進を図るため、会員安全就業基準の改正と、新たに安全・適正就業作業ガイドラインを策定しました。

イ 前年度の事故報告や作業での注意事項等を会報などで周知し、会員の安全対策や健康管理の意識向上を図りました。

(8) 会員の自主的組織活動の推進

効率的な就業を推進するため職班制を継続し、自主的就業の推進を図りました。

(9) 会員確保の促進

ア 会員の口コミや市民ふれあいまつりにおいてPR活動を行い、会員の確保に努めました。

イ 毎月1回の入会説明会を開催し、働く意欲があり当センター事業の趣旨に賛同する会員を募りました。

ウ 地域情報紙等を活用した普及啓発を行い、会員の確保に努めました。

(10) 事業収入の確保及び事業運営費の見直し

受託事業や市補助金の確保を図るとともに、事業運営において経費等の効率化を図りました。

(11) 事業運営に寄与された方々の表彰

永年にわたり、当センター事業運営に寄与され、当センターの発展に貢献された会員29名を表彰しました。

(12) 会員相互の連携及び健康増進

就業以外の生きがいや健康づくりとして、同好会等のサークル活動の内容についてホームページにおいて周知し、会員間のコミュニケーションの充実を図りました。

(13) 社会参加活動の推進

地域社会への貢献と社会参加の機会として、サザンビーチちがさきでの海岸清掃や「シルバーの日」の公園清掃のボランティア活動を行うとともに、市民ふれあいまつりに参加し地域に根ざした活動を行いました。

(14) 職業紹介事業の実施

臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものに限る。）を希望する高齢者に対して、（公社）神奈川県シルバー人材センター連合会の活動拠点として職業紹介を行いました。

(15) 指定管理業務の円滑な運営

自転車及び自動車駐車場施設指定管理業務については、より良いサービスの提供と向上に努め、利用者ニーズの把握と反映に向けた取り組みを行いました。また、市と連携を図りながらより使いやすい駐車場づくりを目指して、利用者への交通安全の啓発などを行うとともに、市民の利用促進と円滑な運営を図りました。